

長妻完至
童謡曲集

1921年10月

2

東京シンフォニー楽譜出版社發行

長崎女子学院創立五十周年記念集

シンフォニー楽譜出版社



序

恩師山田耕筰先生の御指導を得て童謡作曲に手を染めてから十數年、その作品五百曲の多數に達した。その間雑誌、音樂全集その他合同の著作物に掲載し、ラジオレコード等で發表した、又林きむ子女史其他の舞踊家によつて振付發表されたものも相當多數にのぼつてゐるが余の單獨の刊行物として發表されたもの少く江湖の批判を仰ぐ機會の少かつた事を残念に思つてゐる。此處に於て畏友詩人林柳波氏及竹馬の友、彫刻家加藤顯清氏の多大なる援助により此の作曲集を刊行する運びに至つた。又本作曲集を刊行するに當り恩師山田耕筰先生を始め、大先輩現東京市視學田村虎藏先生、大日本作曲家協會總務理事學習院教官小松耕輔先生、林柳波氏、林きむ子女史の諸先生から過當な推薦の辭を賜り華々しく江湖に見ゆるの光榮に浴し深謝に絶えぬ次第である。又作詩家諸先生の御作詩を載せることを快諾され、振付には林きむ子女史、賀來琢磨氏の御厚意を得深く感謝の意を表明する。

尙ほ本曲集に收めたものは各集とも全作品中より選出修正したもので、その半はレコードとなり又舞踊振付されたもので、目次中に附記した、幼・高及羅馬數字は大體使用に適した學年を示して讀者の便に備へた。例へば

幼——II は幼稚園から尋二位、V——高は、尋五から高等科といふ意で大體を表示して參考に供したのである。

昭和九年四月三日

(全國教育精神作興大會御親閲の日)

長 妻 完 至

推 薦 の 言 葉

糧を要求するのは肉のみではない。靈もまた糧を必要とする。しかも人は餘りにも肉の糧をもとめて靈への糧を忘れ勝である。ことに次の時代を形成する、尊きわれらの幼き者に對しては猶更。

この時に、眞に兒童を愛し、兒童の師とし、友としてながき生活を送られた長妻完至君がこの缺陷を補ほうと企てられたことを知つて私は心から喜ぶものである。

長妻君はたゞ兒童へのよき師、よき友であるばかりではない。兒童の靈への最もよき糧である音樂の使徒である。その筆は健か、その想は純。誠に幼き者の胸に溶

け入る滋味豊かなる音楽を調理しうる人である。

私は切に希ふ。君のつくる靈の糧が兒童より家庭へ、家庭より社会へと流れ入つて、この愛する祖國を輝やかなるものとならしむよう。たゞ切にそれを希ふ。

作曲家 山田 耕 筈



余と該著者長妻君とは、十數年來の知合である。君は初等教育に於ける唱歌教授に従事せらるゝこと約二十年。此間山田耕筈氏に就いて和聲學並に作曲學を修め、實際教授の側ら、兒童的歌謡曲を多數に作製されるなど、常に研究的態度を持して事に當つて居られるので、君が奉職校の兒童成績は頗る佳良である。茲に機熟して君が長年に涉りての自作歌謡曲を蒐集し、序を追つて逐次公表されんとする斯道のため洵に慶賀に堪へない。

惟ふに兒童的作品は兒童教育者の手に成るべきを至當とする。況して君の修養と研鑽とは、その作品を通じて、まさに余の推獎を餘儀なくされた、眞に童心を捕へた佳作が多い。於是、余が所懐の一端を述べ、以つて江湖の同志に本書の價值を御紹介申し上げる。

東京市視學 田 村 虎 藏



長妻完至君は我が大日本作曲家協會の最初からの會員で、おもに童謡作曲に精進されてゐる人である。かつて我が作曲家協會主催の下に開催された作曲祭にもその清新純眞なる童謡を發表して非常な高評を博した。同君は山田耕筈氏の高弟で、つとにその作品も多く且つ國民性に富んだ作風は全く我が童謡作曲界の麒麟兒とも云ふべきである。加ふるに同君は永年初等教育音楽に身を置かれてゐる關係上、その作品は直ちに兒童の潑刺たる心情にピッタリとしてゐる點は特筆すべきである。然るに同君が沈黙の士である爲に不幸、未だその作品の單獨刊行されたもの少く誠に遺憾の極みであつた。此度刊行された本作曲集は實に同君作品五百の中から選出された優秀作品の選集で、同君の爲、我童謡界の爲、將亦我可憐なる全國の少年少女諸君の爲にその出版を悦ぶ次第である。余はこゝに本作曲集を以て純美優良なる童謡

曲集として江湖に推薦すると同時に同君の創作發表の門出を祝福するものである。

大日本作曲家協會總務理事 小松耕輔
學 習 院 教 官

◎

童謡の作曲に於いて、輕妙洒脫な氣分が必要だと云ふならば、長妻完至君の曲を見るがいい。優美綽然たるメロデーとハルモニーとが必要だと云ふならば、矢張り同君の作を見るがいい。

私は何等の躊躇なしに、斯く云ふであらう、君の表現は、確固たる音楽教養の基礎上に立ち、君の作品は、實際教育の経験から生れ、而して、君の思想は、童心の糧に因つて培養された、リーベリツシエ・キンデルヘルツから成つてゐる。

君の曲集は、既に十年以前に出版さるべきであつた。然し遅れたと云ふ事は決して恥づ可きでない。何となれば、君の手腕は之に因つて一層其の鍊達度を増し、君の思想は、漏過され、沈澱と残渣とを完全に除去されたが故である。

君の童謡曲は、最早再び、ニーデルシュラッグする事はない。君の童謡曲は飽く迄クラールでフロイリッシュでそしてフリツシュである。大方の御愛用を御願したい。

詩 人 林 柳 波

◎

長妻完至氏の作られる童謡には種々な子供の心持が様々に盛り上げられてゐる無邪氣に美しいものが多い事は定評があるが、誠に可愛らしく上品な茶目氣がくりくりとした光澤のある小さい赤い實などを思ひ起させる。また中には、お月さん、四十雀、ばあや、などしみじみと涙の誘はれるやうな子供の感傷を子供らしく可憐に扱つたものも少なくない、殊に「ばあや」は私の大好きな曲である、伴奏もほのかな春の日暮らしい氣分が漂つてゐて何時きいても新しく味はれる。か様に同氏の童謡が子供の生活にピッタリした美しい子供の心もちをよく表現されてゐると云ふのも全く同氏が長い間子供音楽のよい指導者として可憐な元氣にみちみちた子供たちと共に生き生きした生活をされてゐる賜とも云へやう。表現の林成丸さん(理尹子嬢)はまだ小さいが私の所の名取の一人で、お父様の心もちをよく現はし得る可憐な踊手である。

舞 踊 家 林 き む 子

かぐや姫の歌

林 林
さ
柳 む
波 子
作 振
詩 付

1.



2.



3.



4.



5.



6.



7.



8.



9.



10.



11.



12.



13.



14.



15.



16.



17.



18.



19.



20.



21.



22.



23.



24.



25.



26.



27.



28.





かぐや姫の歌

林 柳 子 振付
波 作詩

前奏中

1. 2. 3. は圖の通り次に2圖と同じ事を今一回する。
4. 圖の前に1圖と同じ事を後向で一回して4圖に移る。1圖と4圖の前は右足から次に左足と一つづつ拍子をふむ。
5. は圖の通り次に4圖と同じ事を今一回する。
6. 圖から7圖へは同じ形のまゝ半圓形を描きながら左足で軽く飛びながら来る。
7. 圖で其儘8圖に手足を變へて、其儘右足で飛びながら一周し再び8圖の形で納る。

(前奏終り)

『カンカラお山の竹藪で』 9. 10 は圖の通り今二回、9. 10 を繰り返す。
『竹取ちいさんカン〜〜』 11圖右足から二つ拍子をふむ1. 2. 1圖と同じ事を三回する。

『雀のお家が』
は1圖の通りにし次いで11圖の通りに。
『ゆーらゆーら』 12 13 は圖の通り今一回、その通り繰り返す。

『小雀三羽に』 14 圖の通り指してそのまゝ右足から、三步右廻りして前向になる。
『親戚づ』 15 圖になる前に両手を下げ直立して左足をふむ、15圖で右足をふんで、次で16圖の通り左足をひき膝をついて向ふを見る。

(右膝は立てる)

『啼き〜お里へ』 17圖のやうにし次いで手足をとりかへながら右へ一周する。

『逃けてつた』 18圖のやうにして右足で三回前斜に飛ぶ。

『オヤ逃けてつた』 オヤで手をつち打ち19圖のやうにして大きくカイグリを一つしながら右廻りをして、20圖のやうになる。

二節、前奏から雀のお家がまでは一節の通り『キーキラ』 21、22、圖の通り21圖を今一回する。

『可愛い〜子が一人』 23 24圖の通り上を見ながら手をつち打ち同じ事を四回する。

『ニコ〜笑つて』 25圖の通りを手足を替へてやりながら右へ一周する。

『のぞいてた』 26圖で手を打ち、27圖に移る『オヤのぞいてた』 オヤで手を19圖の通りにして廻り再び27圖をする。

それから今度は前節通り、

『そーらそら』 28 29圖を今一回する。

『そつとお抱きよ』 は1圖通り。

『そつとだよ』 30 31圖、30圖か今一回。

『雀に貰つた』 32圖の通りにして手と足を替へながら右へ一回。

『娘だよ』 33圖兩の袂を前方にむけならべ、足は右から二度ふむ。

兩袂をもつたまゝで19圖のやうにカイグリをしながままは、次いで34圖の通りちよいとのせの前まで前節通り。

『ちよいとのせ』 35 36圖通り35今一回する。

『婆さんそばから』 1圖通り。

『みないよばあ』 37圖の通り右足を前方へ出し次で38圖で出した足を後へひき再び37圖の通りにする。

『皆てあそんで』 は23 24圖通りを四回する。

『月が出た』 39圖通り右足から拍子を二つふむ。
『オヤ月が出た』 オヤで手をつち打ち、19圖を一回して、40圖になる。

(終り)

長妻完至童謠曲集

第二輯

目次

(曲名)	(學年)	(頁)
1. 日本よい國……	幼—高……	1
2. キューピーちゃん……	幼—Ⅲ……	3
3. 新兵さんのお星……	幼—Ⅲ……	5
4. つくしんぼ……	幼—Ⅲ……	7
5. 電車ごっこ……	I—Ⅲ……	9
6. ヘヘのものへじ……	幼—Ⅲ……	11
7. 動物園……	I—Ⅲ……	13
8. 螢……	幼—Ⅱ……	14
9. 繪日傘……	Ⅱ—Ⅲ……	15
10. 野原の時計……	Ⅱ—Ⅲ……	18
11. 雨だれ兵隊さん……	Ⅱ—Ⅲ……	19
12. 雀……	Ⅱ—Ⅲ……	20
13. お猿の顔……	Ⅱ—Ⅲ……	21
14. 鈴虫松虫……	Ⅱ—Ⅲ……	23
15. 春の河……	Ⅱ—Ⅲ……	25
16. 魚屋さん……	Ⅱ—Ⅲ……	27
17. 泣く子はどなた……	Ⅱ—Ⅴ……	29
18. 金魚とダイヤ……	Ⅲ—Ⅴ……	31
19. いね刈……	Ⅲ—Ⅴ……	32
20. 小川の水……	I—Ⅲ……	33
21. 林檎のお家……	Ⅲ—Ⅲ……	35

(曲名)	(學年)	(頁)
22. お猿のお芝居……	Ⅱ—Ⅴ……	37
23. かぐや姫の歌……	Ⅱ—Ⅴ……	39
24. お人形さん……	Ⅱ—Ⅴ……	41
25. ぼうふら踊り子……	Ⅲ—Ⅴ……	43
26. なんなん七つ……	Ⅲ—Ⅴ……	45
27. 星の鈴……	Ⅲ—Ⅴ……	47
28. 段々山……	Ⅲ—Ⅴ……	48
29. 知らん顔……	Ⅲ—Ⅴ……	49
30. ヨツト……	Ⅱ—Ⅲ……	51
31. 狐のお祭……	Ⅱ—Ⅲ……	53
32. 五月の鯉……	Ⅲ—Ⅲ……	55
33. えんやこら工夫さん……	Ⅲ—Ⅴ……	57
34. ふくろと狸……	Ⅲ—Ⅴ……	59
35. ほたるのお水参り……	Ⅲ—高……	60
36. お靴を鳴らして……	Ⅲ—Ⅴ……	63
37. 山登り……	Ⅲ—高……	65
38. 夜の山……	Ⅲ—高……	67
39. 村の一本杉……	Ⅲ—高……	69
40. 椿と五重の塔……	Ⅲ—高……	71
41. 秋の日……	Ⅴ—高……	73

—(以上)—

日本よい國

輕快に (♩=116)



日本よい國

— 兒童のための踊り唄 —

林 柳 波

日本よい國 さくらが咲いて

富士ははるかに 雲の上

雪のいたゞき サツトサノサ

サ一ツトサノサと 日が光る

上は萬代 幾らぬ君に

下は忠義な 民草よ

心合せて サツトサノサ

サ一ツトサノサと 國守る

文武二つは 輝くばかり

國の力は 増すばかり

伸びる力を サツトサノサ

サ一ツトサノサと 旗じるし

日本よい國 海山千里

大和心の 花が咲く

いよゝ茶えて サツトサノサ

サ一ツトサノサと 實を結ぶ



日本よい國

作詩 林 柳 波
振付 賀 来 琢 磨

註

此の踊は廿四拍の十の型より成つて居ります。用意圓心に向つて立ちます。此の踊を二回繰返しますと丁度曲の一曲が終りになります。

踊1二拍

右足を右横へ一歩出し、次に左足を右足の後へ交又す。同時に寫眞一の如く右上に出す。(圖1)

踊2二拍

踊1の動作を左に反對に行ふ。(圖2)

踊3四拍

兩手の掌を上に向け頭上に作圓しつゝ、右足より圓心へ四歩前進す。(圖3)

踊4四拍

タン、タン、タ、タ、タと拍手五回しつゝ、右足より三歩後退し脚を揃へる。(圖4)

踊5二拍

踊1の動作と全じ。(圖5)

踊6二拍

踊2の動作と全じ。(圖6)

踊7二拍

右向となり右足を一歩前進し、左足を右足の後へつける、同時に兩手を体の前後へ出す。(圖7)

踊8二拍

左足で一歩前進し、右足を左足の後へつける、同時に兩手を体の前後へ出す。(圖8)

踊9二拍

圓心へ向つて右足を一歩踏出し左足を後舉す。同時に兩手を体前で左右に開く。(圖9)

踊10二拍

圓心向の儘兩脚を揃へ体前で拍手一回す。(圖10)

(ニツトレコード参照) 終り

キュー ピィちゃん

可憐に (♩=80)



新兵さんのお星

元気よく (♩ = 116)

mf

f

mf

新 兵 さん の お ほ し は ひ と つ ぼ し
新 兵 さん の お ほ し は ひ と つ ぼ し
新 兵 さん の お ほ し は ひ と つ ぼ し

mf

mp

ぼっ っつ りりり おお おお ひとと つつ つ ささか びび ししい いな
ぼっ っつ りりり おお おお ひとと つつ つ ささか びび ししい いな
ぼっ っつ りりり おお おお ひとと つつ つ ささか びび ししい いな

mp

f

ソソまヒ レーデ も新 兵 さん は だ い げん ん き
 ー ー か モ は ツ ち イ フ ン ー
 ー ー レ ナ は を ち と か ぶ ー
 グ ー ー ャ ツ ー シ

f

mf

ゴスけ たぐ つ な ら し て お 二 三
 ヤ イ ツ シ タ カ シ ホ シ テ オ 二 三
 ャ ツ バ リ オ ヒ ト ツ カ ナ

mf

*D.C.
al Fine.*

新兵さんのお星

松村又一

新兵さんのお星は 一つ星

ほつちりお一つ 淋しいな

それでも新兵さんは 大元氣

どな顔ならして お一、二、三

新兵さんのお星は 一つ星

ほつちりお一つ 淋しいな

それでも新兵さんは 手を振つて

すました顔して お一、二、三

新兵さんのお星は 一つ星

ほつちりお一つ 可愛いな

まづかな帽子を ちよつとかぶり

敬禮しながら お一、二、三

新兵さんのお星は 一つ星

ほつちりお一つ 可愛いな

日暮れりや空にも 一つ星

やつぱりお一つ 可愛いな

つくしんぼ

可愛らしく (♩ = 120)



f *mf*

てふも ひらひら まつて るよ
とんが り ばうしを かして やろ

つくつくつくし

f *mf*

mp

つくしんぼ おつむを ちよつびり だして みな

mp

つくしんぼ

権藤はな子



つくつくつくし つくしんぼ

お頭をちよつびり 出して見な

雲雀がびい／＼ ないてるよ

蝶々もひらひら 舞つてるよ

つくつくつくし つくしんぼ

お頭をちよつびり 出して見な

ちりちりちりん 鈴つけた

とんがり帽子を かしてやろ

つくつくつくし つくしんぼ

お頭をちよつびり 出して見な

で　　—　ん　　しゃ
デ　　ン　　しゃ　　ハ
じゃ　　り　　い　　し
デ　　—　　ン　　しゃ

mp

ごいでゴ つきつツ のスラノ シャカスオ しゃくビキヤ うアーキク さシトサ ンデデン あおごオ ーもナ かはんバ いナノノ わバトデ ンタネン しゃへ

mf

mp

うヲル
しよケネ
んタニン
わバトデ
いなノノ
かハハバ
一もナ
あオゴオ
んデでシ
はシトサ
うアーク
しよケネ
しカスオ
のスウノ
こマキヨ
つキツツ
こいでゴ

てはさみ きつをさ りま す バ ツ チ リ コ
 ヒ マ ハ リ チ ヲ ノ レ ー ル ツ ギ ヲ
 ツ ト マ リ ェ 一 フ タ ギ ン ス ト ギ
 ナ ガ ヅ タ ハ ネ タ ギ ン ゴ ウ ギ

mf

コ　　ゴ　　リ
 ゴ　　ブ　　ウ
 ヲ　　ツ　　ウ
 ツ　　ゴ　　ゴ
 ィ　　ン　　ゴ
 バ　　チ　　ゴ
 チ　　ゴ　　チ
 す　　フ　　リ
 食　　ル　　タ
 り　　一　　は
 け　　レ　　ハ
 せ　　レ　　ハ
 を　　ノ　　と
 ふ　　ク　　タ
 つ　　一　　ン
 き　　チ　　ト
 み　　リ　　チ
 さ　　ハ　　ツ
 は　　マ　　ガ
 に　　ト　　ナ
 て　　ヒ　　ッ

1. 込み合ひ ますから ど う ぞ 御 順 に 願 ひ ま す
 2. お降りの 方が すん で か ら 乗 り の 方 は 意 願 ひ ま す
 3. お次は 皆さま お 乗 り 替 へ ぞ 御 用 意 願 ひ ま す
 4. お次は 終点 学 校 前 忘 れ 物 の 意 願 ひ ま す

p

mf *f*

電車いつこし

大村主計

電車ごつこの 車掌さん

赤い腕章 手に鉄

切符を切ります バツチリッ

「言葉」 込み合ひますから中程へ
どうぞ御順に願ひます

電車は行きます かけ足で

お花畑を 一まはり

チヨークのレールを チンゴツゴウ

「言葉」 お降りの方がすんでから
お乗りの方は願ひます

砂利石鐵橋 スピードで

御門のトンネル 一くぐり
ぐるつとまはつて ゴーストツブ「言葉」 お次は皆様お乗り替へ
どうぞ御用意願ひます

電車ごつこの お客さん

お繩の電車へ つながつて

飛んだり跳ねたり チンゴツゴウ

「言葉」 お次は終點學校前
お忘れ物のないやうに

へへののもへじ

可愛らしく (♩=112)

mf

f

かくれんば かくれんば
モウイイカイ モウイイカイ

f

あの子はおせどのくらのかげ ひとりでよーびよび
マータキルマニシロカベへ へーのノモーヘジヲ

mf

まつてます ひとりでよーびよびまつてます
カキマシタ へーのノモーヘジヲカキマシタ

f

へへのもへじ

中村 雨紅

かくれんぼく

おの子はお脊戸の
土蔵の陰
一人で呼び呼び
待つてます

もういゝかいく

待つてゐる間に
白壁へ

へへのもへじを
描きました

日が暮れてく

一人ばつちり
残された

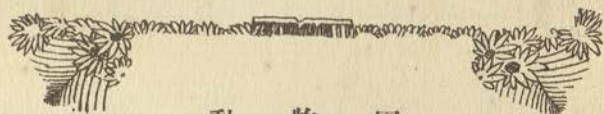
へへのもへじは
淋しいでせう

夜が明けてく

へへのもへじに
聞いたらば

夜通しお星さま
見てたとさ

(ボリドール正月新聞四九五)



動物園

西岡 水朗

おほきな象さん
檻の中

ひとりで巻いたり
ほぐしたり
お鼻を振りく
遊んでた
ブランコ
遊んでた

おしやれの鶴さん
池の端

おめかしすると
水鏡
お首をかしげて
覗いてた
いくどもく
覗いてた

いねむり龜さん
岩の上

ひなたで甲羅が
あつたかい
お顔をかくして
眠つてた
コツクリく
眠つてた

いたづら猿さん
木のねっこ

人真似
物真似
赤ん目しながら
おどけては
はしやいでた
キヤツキヤ
キヤツキヤ
はしやいでた

おまめな熊さん
檻の中

御用もないのに
ゆきもとどろ
お頭をふりく
歩いてた
ノツンリ
ノツンリ
歩いてた

おしやべり家鴨は
水の上

みんなの格構が
おかしいな
お口をひらいて
笑つてた
ゲググのゲググで
笑つてた

動物園

軽快に面白く (♩ = 120)



mf

おほきなぞうさんをりのなか
オシャレノツルサシイケノハタ

mf *fine* *mf*

mp

ひとりでまいたりほぐしたりをはなをふりふり
オメカシスルトタミヅカガミオクビヲカシゲタ

mp

f

あそんでたブランコブランコあそんでた
ノゾイタタイタドモイタドモノゾイタタ

mf *f*

螢

輕快(♩=112)



螢が田圃で
青い提灯
消しました

ビカリ ビカリ
青い提灯
ビカリ

螢が田圃で
青い提灯
点けました

ビカリ ビカリ
青い提灯
ビカリ

螢

野口雨情



繪日傘

優美に (♩=132)

mf

mp *p*

mp

さ い た よ さ く ら さ く ら が さ い た
 へ う ひ う さ フ ク マ マ ャ ャ ャ
 ち る ち る さ く ら さ く ら が ち る ャ

mp

p

ち ら ら ち ら ほ ら さ く ら が さ い た
 ち ら ら ち ら ひ ら さ フ ク マ マ ャ ャ ャ
 ち ら ら ち ら ち ら ら さ く ら が ち る ャ

p

mf

は は な の トン トン ネ ネ ル ル さ は れ い が だ な
 は は な の トン トン ネ ネ ル ル さ は れ い が だ な

mf

Musical score for "Sakura" by Kiyomasa. The score is written for voice and piano. The key signature is one flat (B-flat), and the time signature is 4/4. The tempo is marked "p" (piano). The lyrics are in Japanese.

The vocal line (treble clef) begins with a half note G4 (B-flat), followed by a quarter note A4, a quarter note B4, and a quarter note C5. The lyrics under the first four notes are "まじろ", "ひがひ", "がさが", and "さのさ". The vocal line continues with a half note D5, a quarter note E5, a quarter note F5, and a quarter note G5. The lyrics under these notes are "まうま", "はし", "て", and "く". The vocal line then has a half note A5, a quarter note B5, a quarter note C6, and a quarter note D6. The lyrics under these notes are "は", "は", "ば", and "ち". The vocal line continues with a half note E6, a quarter note F6, a quarter note G6, and a quarter note A6. The lyrics under these notes are "ぐ", "り", "まい", and "せ". The vocal line then has a half note B6, a quarter note C7, a quarter note D7, and a quarter note E7. The lyrics under these notes are "ん", "り", "か", and "る". The vocal line ends with a half note F7, a quarter note G7, a quarter note A7, and a quarter note B7.

The piano accompaniment (bass clef) begins with a half note G3 (B-flat), followed by a quarter note A3, a quarter note B3, and a quarter note C4. The piano accompaniment continues with a half note D4, a quarter note E4, a quarter note F4, and a quarter note G4. The piano accompaniment then has a half note A4, a quarter note B4, a quarter note C5, and a quarter note D5. The piano accompaniment continues with a half note E5, a quarter note F5, a quarter note G5, and a quarter note A5. The piano accompaniment then has a half note B5, a quarter note C6, a quarter note D6, and a quarter note E6. The piano accompaniment continues with a half note F6, a quarter note G6, a quarter note A6, and a quarter note B6. The piano accompaniment ends with a half note C7, a quarter note D7, a quarter note E7, and a quarter note F7.

The lyrics are: まじろ ひがひ がさが さのさ まうま はし て く り まい せ ぐ り か る

mf *p* *rit.*

く り り く る く り ま せ
 ち う り ち う ち ち ち か か ち
 ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ

mf *p* *rit.*

繪 日 傘

島 田 芳 文

咲いたよ櫻 櫻が咲いた

ちらら ちらほら 櫻が咲いた

花のトンネル 綺麗だな

繪日傘廻して くざりませう

くるり くるくる くざりませう

ひらひら蝶々 蝶々が舞ふよ

ちらら ひらひら 蝶々が舞ふよ

花のトンネル 先がけて

日傘の上を 飛んで行く

ひらり ひらひら とんでいく

散る散る櫻 櫻が散るよ

ちらら ちらちら 櫻が散るよ

花のトンネル 花吹雪

繪日傘廻せば 散りかゝる

ちらら ちらちら 散りかゝる

野 原 の 時 計

島 田 芳 文

チツチツ チクタク チツチツチツ

野原の草蔭 チツチツチツ

誰が落した 時計でせう

誰が落した 時計でせう

チツチツ チクタク チツチツチツ

形も見せずに チツチツチツ

何處で鳴つてゐる 時計でせう

何處で鳴つてゐる 時計でせう

チツチツ チクタク チツチツチツ

草の寝床で チツチツチツ

夜も更けます 何時でせう

夜も更けます 何時でせう

チツチツ チクタク チツチツチツ

草を踏んだら チツチツチツ

虫がたまげて 飛び出した

虫がたまげて 飛び出した

雨 だ れ 兵 隊 さ ん

島 田 芳 文

サラリ サラ サラ 雨の日に

雨だれあぶくの 兵隊さん

坂をいつしよに 下りてゆく

坂道下りれば 電車道

雨だれあぶくの 行列は

電車にしかれて びつちやもこ

交通巡査も 知りません

雨だれあぶくは けがもせず

電車のあとから ついてゆく

野原の時計

軽快に (♩ = 126)

mf

f

mf

mf

p

mf

f

mp

mf

f

mp

mf

f

mp

mf

p

mf

p

mf

p

mf

p

の は ら の く さ か げ チ ャ ャ チ ャ チ ャ だ れ が あ と し た
カ タ チ モ ミ セ ズ ニ チ ャ ャ チ ャ チ ャ ド コ デ ナ ツ ラ ル

と け い で セラ だ れ が あ と し た と け い で セラ
ト ケ イ デ セウ ド コ デ ナ ツ ラ ル ト ケ イ デ セウ

雨なれ兵隊さん

軽快に(♩=108)

mf p

mf mf

ナー ラ リ サ ラ サ あ め の ひ に あ ま だ れ あ ぶ く の
 サ カ ミ ナ タ ク ダ レ バ デ シ ン シ ミ セ ン ア マ ダ レ ア ぶ く は
 か ふ つ う じ ゅ ン さ も し り ま

dolce mf p mf

mp

へ い た い さん さ か を い つ し に お り て ゆ く
 ゲ ヲ レ ツ ン さ か を い つ し に お り て ゆ く
 け が も せ ず でん シ ャ の あ と か ら ビ ツ チ ェ ム

mp mp

8va

mp p

雀

可憐に (♩=84)

Sra



(小符は第一章歌詞)



お猿の顔

無邪氣に ♩ = 112)

おさはあやまに ゐたころは

きのみをひろつて たべてゐた

きのみをひろつて たべてても あかははやほり あかつた

あかはのあかいは うまれつき



お猿の顔

野口雨情

お猿がお山にゐた頃は

木の實を拾つて たべてゐた

木の實を拾つて たべてゝも

お顔はやつぱり 赤かつた

お顔の赤いは 生れつき

怒つてゐるんで ないんだよ

雀

塚本篤夫

雨に降られて 濡れ葉の下で

鳴かぬ雀も 太陽がやりや

チユン チュク チユン

親にはぐれた 子雀だろと

旅になれなれ 育てば

チユン チュク チユン

敵の雀に おくにを問へば

首を振り振り 空みて

チユン チュク チユン



鈴虫 松虫

優しく (♩=52)

mf *p*

mp *rit.* *pp*

mp

おにはのすみで すすむしが
オニハノスミデ マツムシガ

a tempo. *mp*

f

りん りん りん りん りん と ー な き ま し た
ラン チロ チン チロ チン チロ リン ト ナ キ マ シ タ

f

さ ん の こ す す を ふ る や う な や さ し い
ギ ン ノ コ ス ズ ヲ フ ル ヤ ウ ス ズ シ イ

8va

1. こ ゑ で な き ま し た
コ エ デ ナ キ マ シ タ

2. ナ キ マ シ タ

鈴 虫 松 虫

西 村 醉 香

お庭の隅で 鈴虫が

りん／＼りん／＼ りんと

鳴きました

金の小鈴を ふるやうな

やさしい聲で 鳴きました

お庭の隅で 松虫が

ちんちろ／＼ ちんちろりと

鳴きました

銀の小鈴を ふるやうな

すゞしい聲で 鳴きました

春の河

のんびりと (♩ = 104)

ゆ う り ゆ う り は るー の か は ひ か ふ の
 ユ ウ リ ヨ ウ リ ハ ルー ノ カ ハ ホ カ ゲ タ

mp *dolce.*

(小符第二歌詞)

き し の え ん と つ の か げ が の び た り
 フ ネ ニ カ ケ ス フ ネ ド レ カ ユ キ ヤ ラ

mf *mf*

ち ち ん だ り ゆ う り ゆ う り は るー の か は
 カ ヘ リ ヤ ラ

p *p* *dolce* *mp*

だ れ が す て た か お と し た か あ か い れ ん げ の

p *mp* *mf*

は な た ば が み づ に う い た り し づ ん だ り

mp *mf* *poco rit* *p* *pp*

春の河

加藤まさを



ゆうらり ゆうらり 春の河

むかしの岸の 煙突の

影がのびたり ちちんだり

ゆうらり ゆうらり 春の河

帆かけた舟に 掛けぬ舟

どれがゆきやら かへりやら

ゆうらり ゆうらり 春の河

誰が捨てたか 落したか

紅いれんげの花束が

水に浮いたり 沈んだり

魚屋さん

面白く (♩ = 104)

Piano introduction in 2/4 time, key of D major. The right hand features a melody of eighth notes, while the left hand provides a bass line. The piece ends with a 'Fine' marking.

mf *mp*

い 一 つ も が く から の ゆ き か ヘ り さ か な や
 ボ ク ラ ノ ガ ク カッ の は シン コ ジュ トウ さ カ ナ ヤ
 こ ぞ ら さん の が く から は サダ ノ ムラ ウ ば く ら の
 オ サ カ ナ カ ズ ヘ チ ラ ノ ウ ヘ キ レ イ ニ

mf *mp*

mf

さ の 一 こ ぞ う さ ん ニ コ シ コ ア さ か な
 サ ン ノ ー オ カ ラ ジ ャ ド ヲ ニ タ ラ ア シ カ ナ
 が く から の セ ン セ い キ キ ホ ー ゴ ト こ ト ッ カ ノ
 ナ ラ ン ダ イ タ ヒ キ

mf

mp

か ぞ へ て る ヒ ト ヤ ヒ ト ヤ フ タ ヤ ナ フ タ ヤ フ タ ヤ
 チ ガ フ ザ ャ シ ャ イ ャ シ ャ イ ャ ツ ヤ ナ イ ツ ヤ イ ツ ヤ
 わ か る だ ら ャ ナ ナ ヤ ナ ヤ ヤッ シ ャ ヤッ シ ャ
 オ マ ケ デ ス ト ト ヤ ト ト ヤ 十 イ チ ト オ マ ケ ダ オ マ ケ ダ

mf *mp*

rit *a tempo*

ミツ シ ナ コ ゴ ろ さん の か ん ー じ ゃ う お も し ろ い
 ムツ シ ナ コ サ カ ゴ ろ ナ ノ カ ズ へ カ タ お も し ろ い
 コッ シ ナ コ サ カ ゴ ろ ナ ノ カ ャ ャ び ー じ ゃ う お も し ろ い
 マケトケ ナ コ サ カ ナ ヤ サ シ ー ハ ー ー イ ナ マ シ

rit *mf* *a tempo* *al Fine*

魚屋さん

島田芳文

いつも学校のゆきかへり
 魚屋さんの小僧さん
 ニコ／＼お魚 数へてる
 ヒートヤ／＼ フータヤナ
 フータヤ／＼ ミツシエナ
 小僧さんの勘定 面白い

僕等の学校の算術と
 魚屋さんの 勘定
 どうしてあんなに 違ふだらう
 ヨツシヨイ／＼ イーツヤナ
 イーツヤ／＼ ムツシエナ
 魚の数へ方 面白い

小僧さんの学校は何處だらう
 僕等の学校の先生に
 聞いたら何處だか 解らだらう
 ナンヤ／＼ ヤツシエナ
 ヤツシエ／＼ コンノイナ
 小僧さんの呼び聲 面白い

お魚かぞへて 皿の上
 きれいに並んだ 幾匹か
 十に一つの おまけです
 トートヤ／＼ 十一と
 オマケダ／＼ マケトケナ
 魚屋さんは いさまし

泣く子はをなた

無邪氣に(♩ = 112)

Musical notation for the piano introduction, featuring a treble and bass staff in 4/4 time. The treble staff has a key signature of two flats (B-flat and E-flat). The piece begins with a forte (f) dynamic, marked with an accent (>) over the first chord, and transitions to mezzo-forte (mf) later. It concludes with a 'Fine' marking.

The first system of the song, including vocal melody and piano accompaniment. The vocal line starts with a mezzo-forte (mf) dynamic and ends with a piano (p) dynamic. The piano accompaniment is marked mezzo-forte (mf).

こんこんこゆきの ふる はんに おせどの か—げに しょんぼりと
 コンコンコユキノ フルバンニ ドーコカソ コーラゲ ションボリト
 こんこんこゆきの ふる はんに ゆ—きの の は—らで しょんぼりと

The second system of the song, including vocal melody and piano accompaniment. The vocal line starts with a mezzo-piano (mp) dynamic. The piano accompaniment is marked mezzo-piano (mp).

なな い て む る の は ざ な た で す 二 メ ソ ン す る の は お よ し な い
 な い て む る の は ざ な た で す 二 メ ソ ン す る の は お よ し な い
 な い て む る の は ざ な た で す 二 メ ソ ン す る の は お よ し な い

小符 第一、三歌詞

The third system of the song, including vocal melody and piano accompaniment. The vocal line starts with a mezzo-forte (mf) dynamic. The piano accompaniment is marked mezzo-forte (mf).

お や ま で — ふ く — ろ が な い — た の か — —
 お さ か — で た — き り か へ — ら な い — —
 お さ か — で た — き り か へ — ら な い — —

金魚とダイヤ

可憐に($\text{♩} = 88$)

(小符第三章歌詞)

mp

p

チ	ラ	チ	ラ
ホ	ロ	ホ	ロ
あ	し	た	の

mf

p

mf

mp

チ	ラ	リ	チ	ラ	リ	と	ち	つ	た	ゆ	ふ	べ	の	さ	く	ら	あ	さ	み	り
ホ	ロ	リ	ホ	ロ	リ	ト	オ	チ	タ	ア	サ	ツ	ユ	コ	ツ	ユ	ヨ	ル	ミ	リ
き	ん	ぎ	ゆ	ふ	べ	の	ダ	イ	ヤ	さ	は	れ	ば	き	え	る	さ	ぐ	れ	ば

p

mf

mp

poco rit

pp

み	ん	な	き	ん	ぎ	に	な	つ	て	あ	よ	ー	い	で	る
ミ	ン	ナ	ダ	イ	ヤ	ニ	ナ	ツ	テ	ヒ	カ	ッ	チ	キ	ル
し	づ	む	し	ず	か	に	そ	つ	と	な	が	ー	め	ま	せ

いね刈

面白く (♩ = 108)

Piano introduction in 2/4 time. The right hand features chords and eighth-note patterns, while the left hand plays a simple bass line. Dynamics include *ff*, *mf*, and *sf*. The piece ends with a *Fine.* marking.

mf (小符は第二章歌詞) *mf*

First system of the song. The vocal melody is in the right hand, and the piano accompaniment is in the left hand. The lyrics are written below the vocal line.

いねかり たばがり かまよ こ い き た か
イネカリ タバガリ ウマ ヨ コ イ キ タ カ

f *mf*

Second system of the song. The vocal melody continues in the right hand, and the piano accompaniment continues in the left hand. The lyrics are written below the vocal line.

ちよちよ とがりが ま そこら てばや く
バカ バカ ヨツア ャ ャ タ バ ラ セ ナ カ ニ

mp *mp* *f* *D.C. al Fine.*

Third system of the song. The vocal melody continues in the right hand, and the piano accompaniment continues in the left hand. The lyrics are written below the vocal line.

かりたて る かれば いなごが みなにげ る
ドッコイ ショ ショヘ バ カ カ シ ガ ミ テ ゴ ザ ル

小川の水

優さしく (♩=120)

mp

mf

ご ば し の
ア レ ア レ

mf mp

した の を が は の み づ は ゆ - ら り - ゆ ら り
ゴ ラ ン メ ダ カ ガ ク グ 所 チョ - ロ - チョ ロ リ

mf

ゆ - ら り - よ み づ ぐ さ - き れ い ゆ れ - ゆ れ
チョ - ロ リ - ヨ オ ヤ コ カ - シ ラ ン ナ ラ - ン デ

p

林檎のお家

夢のやうに (♩ = 88)

mp

p *rit* *pp*

mp

あ — か い り ん ご を く り — ね い — て
 ア — カ イ り ん ご の ア フ — イ ハ — ノ
 あ — か い り ん ご の お ま — じ か — ら

a tempo *mp*

p

お — う ち つ く れ ば う れ し か — ろ
 カ — グ ニ つ — レ ル し か — ろ
 か — せ が ふ き だ す ひ し も ツ — き

p *mf*

mf

まーる い おまーどを み つ ば ち や
 とーほ い おトホーま シラし クモと ガ
 とーほ い おまーま に ぼ ひ と

mf *mp*

mp

こ と り も の 一 ぞ く お ひ る ご 一 ろ
 ウ ー イ テ ナ ガ レ テ キ エ タ ユ ク
 だ ー れ か ナ よ ぶ よ は し り だ ー す

mp *mf* *rit* *p*

林檎のお家

林
柳
波

赤い林檎を くもりぬいて

お家つくれば うれしかろ

丸い窓を 蜜蜂や

小鳥ものぞく お晝頃

赤い林檎は 青い葉の

蔭にゆれてる ハンモツク

寝てりや 遠くに 白雲が

ういて流れて 消えてゆく

赤い林檎の お窓から

風が吹き出す 日暮れ時

遠いお山に 星一つ

誰か呼ぶよに 光り出す

お猿のお芝居

調子よく(♩ = 84)



(おはやし)



調子面白く



すすすか
までナ
イトス
ゴモコ
こいじ
ハ
でんね
ささ
ひえ
に木
はノ
しゃ
くす
やオ
し
オ

f *ff*

お猿のお芝居

江崎 小秋

スタタコタンテン スタタコタンテン

ホイキタセ

さあさ これから お猿の芝居
役者は二匹で ございます

スタタコタンテン スタタコタンテン

ホイキタセ

あアかいおべに ちよんと帯しめて
お猿の姉さん 妹です

スタタコタンテン スタタコタンテン

ホイキタセ

花道出できた お猿の姉さん
しくしく泣きまね 上手です

スタタコタンテン スタタコタンテン

ホイキタセ

そこへ大きな むく犬來たら
お猿たまげて 箱の中



かぐや姫の歌

あどけなく(♩ = 96)

mf

mp

か ん か ら お や ま の た け - や ふ で
カ ン カ ラ カ ラ リ ノ タ ケ - ノ フ シ

mf

mf

た け と り ち い さ ん か ん か ん か ん す す め の
デ イ サ ン タ ケ バ カ ン カ ン カ ン ソ コ カ ラ

mp

mf

p

二 お う - ち が ゆ - - - ら ゆ - - - ら
ニ ヒ カ - リ ガ キ - - - ラ キ - - - ラ

p

mf *f*

こすすめさんばにあやふたつ なきなき
カハイイカハイイコガヒトリ ニコニコ

mf *f*

一おさーとへーにげてつた オヤにげてつーた
一ワー一ラッテ一ノゾイテタ オヤノゾイテータ

p *pp* *rit*

かぐや姫の歌

林 柳 波

かんからお山の竹箆で

竹取爺さん かん／かん

雀のお家は ゆーらゆら

小雀三羽に 親三つ

なき／お里へ 逃げてつた

オヤ 逃げてつた

かんからからの竹の節

爺さんたけは・かん／かん

そこら光が きーらきら

かはい／／ 子がひとり

にここ笑つて のぞいてた

オヤ のぞいてた

かんからお山の竹箆で

子供をひろつて とんからとん

婆さんごらんよ そーらそら

そつとおだきよ そつとだよ

雀にもらつた 娘だよ

オヤ 娘だよ

かんからかはい かんや姫

指にもたらない かんからかん

爺さんお手々に ちよいとのせ

婆さんそばから わないよばあ

みんなで遊んで 月が出た

オヤ 月が出た

(ボリドール正月新譜四一九四)



お人形さん

可愛らしく (♩ = 69)

The musical score is written for piano and voice. It consists of five systems of music. The piano part is in 2/4 time, with a tempo of 69 beats per minute. The key signature has two flats (B-flat and E-flat). The vocal part is in the same key and time, with lyrics in Japanese. The dynamics range from *mf* (mezzo-forte) to *f* (forte).

Lyrics:

はな の 糸 ひ が さ く る く る ぼ つ と ぼつ と
 オ ソ デ カ ラ グ テ ボン ボン ボン とん とん
 コ ブ シ カ マ る メ キ スル スル キュ ツ ト キョツ ト
 マ イ タ ダ テ キ スル スル キュ ツ ト キョツ ト

ひ ち た たい た ふ り そ で す が た か せ に お そ ま で が
 ッ た た け ひ な り の ハ ズ ん こ ゅ こ く リ ニ ト
 シ メ テ ヤ ナ シ イ ヒ ト ノ ノ シ ロ イ ス ア シ ト

p な び い て ゆ れ る お さ げ か は い や は か り た の に ん ぎ
 コ バ ア コ ガ ヲ レ ル コ ナ レ コ ハ イ ヤ チ シ ラ コ ス ズ
 ユ メ ミ ル ヒ ト ミ マ マ ニ ヲ ク ニ タ ィ ャ ャ
 p p

mf rit pp

お人形さん

林 柳 波

花の繪日傘 くるく／＼ぱつと
 ばつとひらいた 振袖姿

風にお袖が なびいてゆれる
 おさげかはいや 博多の人形

お袖からげて ほん／＼ぱばん
 ほん／＼手／＼手まりがはづむ

はづむ手まり 仔猫がじやれる
 仔猫かはいや ちりちやら小鈴

こぶしまるめて とん／＼とん
 とんとた／＼けば 日なたの縁で

こくり／＼と ばあさまねてる
 これもかはいや おかしい人形

巻いただて巻 する／＼きゆつと
 きゆつとしめてる やさしい人の

白い素足と 夢見るひとみ
 ママによく似た お人形さんよ



A musical score for the song 'The Rose Tree'. The score is written for voice and piano. The key signature is B-flat major (two flats) and the time signature is 2/4. The music is in common time (C). The vocal line is written on a single staff with a treble clef. The piano accompaniment is written on two staves (treble and bass clefs). The tempo is marked 'Andante'. The score consists of four measures. The first measure has a vocal entry on a whole note, followed by a piano accompaniment entry on a whole note. The second measure has a vocal entry on a whole note, followed by a piano accompaniment entry on a whole note. The third measure has a vocal entry on a whole note, followed by a piano accompaniment entry on a whole note. The fourth measure has a vocal entry on a whole note, followed by a piano accompaniment entry on a whole note. The piano part features a melodic line in the right hand and a bass line in the left hand. The vocal part features a single melodic line. The score is marked with a 'mf' (mezzo-forte) dynamic.

A musical score for the song "The Rose Tree". The score is written for a piano and voice. The piano part is in the lower register, and the voice part is in the upper register. The key signature is one flat (B-flat), and the time signature is 2/4. The piano part begins with a forte (f) dynamic. The voice part enters with the lyrics "The Rose Tree". The score concludes with a "Fine." marking.

[illegible]

mf *mp*

ヒョツ コラ ヒョツ コラ はだか んば
ヒョツ コラ ヒョツ コラ カハノナカ
ヒョツ コラ ヒョツ コラ おそろひで
ヒョツ コラ ヒョツ コラ オニゴツ

ヒョツ コラ ヒョツ コラ はだか んば
ヒョツ コラ ヒョツ コラ カハノナカ
ヒョツ コラ ヒョツ コラ おそろひで
ヒョツ コラ ヒョツ コラ オニゴツ

Musical score for "The Rose Tree" in 2/4 time, featuring a treble and bass staff. The key signature has one flat (B-flat). The melody in the treble staff includes dynamic markings *mf* and *mp*. The bass staff provides a harmonic accompaniment. The piece concludes with a final cadence.

か ら だ を ゆ す 一 つ て こ し ふ つ て
 ーホ ギ ィ ナ ア し タ マ ー マ ー ー ナ り
 ーオ カ カ ケ オ ヒ コ ー シ ミ ズ ノ ナ カ

mf *mp*

ヒ ヨ ツ コ ラ ビ ヨ ツ コ ラ ヒ ヨ ツ コ ラ ナ ヒ ヨ ツ コ ラ ビ ヨ ツ コ ラ ヒ ヨ ツ コ ラ ナ
 ヒ ヨ ツ コ ラ ビ ヨ ツ コ ラ ヒ ヨ ツ コ ラ ナ ヒ ヨ ツ コ ラ ビ ヨ ツ コ ラ ヒ ヨ ツ コ ラ ナ
 ヒ ヨ ツ コ ラ ビ ヨ ツ コ ラ ヒ ヨ ツ コ ラ ナ ヒ ヨ ツ コ ラ ビ ヨ ツ コ ラ ヒ ヨ ツ コ ラ ナ

mf *mp* *D.C. al Fine.*

ぼうふら踊り子

大村主計

ぼうふら踊り子 水の中

ヒヨツコラ ビヨツコラ はだかんば

體をゆすつて 腰ふつて

ヒヨツコラ ビヨツコラ ヒヨツコラサ

ぼうふら踊り子 浮かれもの

ヒヨツコラ ビヨツコラ 川の中

大きな頭を ふりながら

ヒヨツコラ ビヨツコラ ヒヨツコラサ

ぼうふら踊り子 溝の中

ヒヨツコラ ビヨツコラ お揃ひで

浮んで沈んで 水くさり

ヒヨツコラ ビヨツコラ ヒヨツコラサ

ぼうふら踊り子 呑氣もの

ヒヨツコラ ビヨツコラ 鬼ごっこ

追ひかけ追ひ越し 水の中

ヒヨツコラ ビヨツコラ ヒヨツコラサ

なんなん七つ

可愛らしく (♩=84)

mf *f*

なん なん なつ の ほし の こ が

rit *p* *Fine* *a tempo mf*

な な つ の ほ た る の こ に な っ て

mp

な な つ の あ ら ち に と ん で き た

mf *mf* *rit* *D. C. al Fine.*

なんなん七つ

加藤 嘉一

なんなん七つの 星の子が
七つの 蟹の子になつて
七つのお家に とんできた

なんなん七つの お家には
七つのお部屋の 窓あけて
七つの子供が ねゝしてゐる

なんなん七つの 星の子は
七つの子供の 見る夢を
七つのお色に そめつけた

なんなん七つの 夢色は
七星 七色 虹の色
虹よりきれいな 夢の色

星の鈴

野口 雨情

お空のお星さま 銀の鈴
鈴ならりん／＼ りんと鳴る

りん／＼鳴るのは 銀の鈴
ちん／＼鳴るのは 金の鈴

お空のお星さま 銀の鈴
お空でりん／＼ りんと鳴る



段々山

林 柳波

段々山昇ろ 一段 二段
十段目で見たら お春戸の藪の
柿の枝見えた 鳥も見えた

段々山昇ろ 三段 四段
二十段で見たら お家の庭に
おん馬が見えた 仔猫も見えた

段々山昇ろ 五六七八九段
三十段で見たら 田圃の先の
大川見えた 帆船も見えた

段々山高し 五十段で見たら
お山の先は 菜の花盛り
うね／＼道を 赤馬車一つ

星の鈴

可愛らしく (♩ = 76)

あそらのあほしさまぎんのすすすならで

りんりんりんとなるるりんりんなるのは

ぎんのすすーちんちんなるのはぎんのすす

p

mp

p

1. 2.

mf

mp

pp Fine.

p

mp

mf

知らん顔

面白く(♩ = 116)



かへるの　　おたに　　は　　や　　し　　て　　る　　け　　れ　　も　　一　　か　　る　　は
 カヘル　　オカホ　　ハ　　ナ　　チ　　キ　　ル　　ン　　バ　　モ　　一　　カ　　ル　　ハ
 かへる　　お　　く　　ち　　に　　は　　た　　ま　　げ　　て　　る　　や　　れ　　し　　も　　一　　か　　へ　　る　　は
 け　　ン　　ヤ　　レ　　バ　　モ　　一　　カ　　ヘ　　ル　　ハ

し　　ら　　ん　　か　　ほ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ケ　　ロ　　ケ
 シ　　ラ　　ン　　カ　　ホ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ケ　　ロ　　ケ
 し　　ら　　ん　　か　　ほ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ッ　　ケ　　ロ　　ケ　　ロ　　ケ

mp
f
al Fine.

知らん顔

西岡水朗

「ケロツク／＼ ケロツク／＼ ケロケロケ」
蛙かへるか蛙かへるか うたつてゐる

タンコロ タンコロ タンコロリ

田螺は田浦ではやしてゐる

蛙のお歌にはやしてゐる

けれども蛙は知らん顔

ケロツク　ケロツク　ケロケロケ

「ケロツクく　ケロツクく　ケロケロケ」

水車が水車が
まはつてゐる

ギイコト　ギイコト　ギイコトリ

水車は水玉
はねてゐる

蛙のお顔へ
はねてゐる

それでも蛙は知らん顔

ケロツク　ケロツク　ケロケロケ

「ケロツクく　ケロツクく　ケロケロケ」

目高が目高が のぞいてる

チロリヨ　チロリヨ　チロチロリ

藻草にかくれて たまげてる

蛙のお口に たまげてる

やつばり蛙は 知らん顔

ケロツク　ケロツク　ケロケロケ

ヨ ッ ト

愉快に (♩ = 96)

dolce *f* *mf*

mf *Fine.* *mf*

は—し れ は しれ —
ザ—ッ リ ザ ブリ コ

mp *mp*

は しれ よ ヨッ ト あ— か い ほ かけ た ば く ら の
ア ツ ナ ミ クッ タ ヲ— キ ノ ハ ウ マ デ ユ ケ ユ ケ

mf *mf* *D.C. al Fine*

ヨ ッ ト かせよ く う けて— はしれ よ ヨ ッ ト
ヨ ッ ト カモメ ニ マ ケズ ニ ススメ ヤ ス スメ

ヨ
ツ
ト

中村 雨紅



走れ走れ 走れよ ヨツト

赤い帆かけた 僕等のヨツト

風よく受けて 走れよヨツト

さんぶり さんぶりこ 青波蹴つて

沖の方まで 行け行けヨツト

鷗に負けず 進めや進め

僕等は海の兒 日本男子

掲げたは日の丸 輝くみ旗

世界の果まで 行け行けヨツト

狐のお祭

中村あきら

こんこん狐のお祭は

信田の森に ひなた雨

コンコン チャラリコ コンチャラリ

おしやれ狐はお振袖

白紛つけて 紅さして

日傘の下で 踊ります

コンコン チャラリコ コンチャラリ

こんこん狐のお囃子は

お神樂太鼓に 笹の笛

コンコン チャラリコ コンチャラリ

浮かれ狐は 豆しぼり

徳利下げて 千鳥足

尻つぼをふりく 踊ります

コンコン チャラリコ コンチャラリ

こんこん狐のお祭は

晝のひなかに 紅提灯

コンコン チャラリコ コンチャラリ

信田の狐は 銀狐

白、赤、黒、黄 化け狐

おまねきしながら 踊ります

コンコン チャラリコ コンチャラリ

狐のお祭

あどけなく(♩ = 120)

mf

mp

mf

こん こん きつねの
コン コン キツネの
こん こん キツネの

rit. *Fine.* *a tempo*

おまつりは しのだの もーりに ひなたあめ
おハヤシは オカグ ラ イ コ ニ ナ ノ フ エ
おまつりは オハヤシは

コン コン チャ ラ リ コ コン チャ ラ リ
コン コン チャ ラ リ コ コン チャ ラ リ
コン コン チャ ラ リ コ コン チャ ラ リ

おウし ーしゃ れの
一の カだ

mp

ぎゃき つつね はは あまぎ ふめん りしぎ そぼつ でりね
つねね はは あまぎ ふめん りしぎ そぼつ でりね
あ あ しっか ろくし いりろ つさく ーろ けつき てチー

mp

ベにさし て ひがさ の し ー た で お り ま
チド リ ア シ ツ ボ ヲ フ リ り り
ば け づ つ ま ね ヲ し な が ら お ど り ま

mp

すす コン コン チャ ラ リ コ コン チャ ラ リ
すす コン コン チャ ラ リ コ コン チャ ラ リ
すす コン コン チャ ラ リ コ コン チャ ラ リ

*D.C.
at Fine.*

五月の鯉

さはやかに (♩ = 126)

mf *f*

mp *rit.* *p*

は る か の を か に く る る と
 づ グツ ノ コ ヒ ハ タ ハ タ ト
 た ー か く ほ が ら に ま た き よ く

a tempo mf

ま ー は る や ぐ る ま き い ん の
 オ ー ソ う タ ー カ ク ハ タ メ イ ゾ の
 あ ー を い お そ ら を と ん で ゐ る

mp

ひ か り を は な ち あ さ か せ に
 び し き ニ ナ ビ ク フ キ ナ ガ シ
 こ し ひ は に ぽ ん せ ー ね ん の

た 一 つ も い さ ま し さ を の さ き
 ん べ ぱ タ コ シ エ テ コ カ シ コ
 こ こ ろ を し ー め す ふ き な が し

mf *f* *rit.* *mp*

五月の鯉

林 柳 波

はるかかの丘に くるくると
 廻る矢車 金色の

光をはなち 朝風に
 立つも勇まし 竿の尖

五月の鯉は はた／＼と
 お空に高く はためいて

五色になびく 吹流し
 麥畑越えて ご／＼かしこ

高くはがらに 又清く
 蒼いお空を 飛んでゐる

鯉は日本 少年の
 心を示す 吹流し

えんやこら工夫さん

音頭とり獨唱自由に

えんやこらし えんやこらし えんやこら えんやこら えんやこらし

f *mf*

元氣よく合唱 (♩ = 100)

チラチラ ゆきふる きののみち おほきな つるはし

mf *f* *mf*

ふりあげ て えんやこら えんやこら えんやこら し

mp *f*

ほんとに こゝろさん さむかろな

ff *mf* *sf sf sf*

えんやこら工夫さん

松村 又一

えんやこらしよ えんやこらしよ

えんやこらしよ えんやこらしよ

チラチラ雪降る 汽車の道

大きなつるはし ふりあげて

えんやこらしよ えんやこらしよ

ほんとに工夫さん 寒かろなア

汽車の來るときや みんなよけて

通つてしまへば 集まつて

えんやこらしよ えんやこらしよ

ほんとに工夫さん 御苦勞だね

カンカン陽のてる 電車道

大きなつるはし ふりあげて

えんやこらしよ えんやこらしよ

ほんとに工夫さん 暑かろなア

それでも工夫さん 大元氣

二列にならんで 向きあつて

えんやこらしよ えんやこらしよ

線路直しに 日がくれる



ふくろと狸

林 柳 波

闇夜にふくろが ボロスケホー

一本杉の洞の中

小鳥よこはいぞ ちぢんでろ

ふくろが來るから ちぢんでろ

月夜に狸が ボンボコボン

梢は黒い 森の中

しづかに ねんねしな

狸が來るから ねんねしな

朝日がきら 夜が明けた

子供よ小鳥よ 出てあそべ

山には青葉 野には花

ふくろも狸も もうのな

ふくろと狸

輕快 (♩ = 120)

The musical score for the finale of 'The Merry Widow' is presented in a two-staff format. The top staff is in treble clef and the bottom staff is in bass clef. The key signature is one sharp (F#) and the time signature is 4/4. The music begins with a forte (f) dynamic and features a series of eighth and sixteenth notes. A mezzo-forte (mf) dynamic is indicated later in the piece. The score concludes with a 'Fine.' marking.

やっあ みきよ にが ふくす るき ががら ぽぽよ ロンが スボあ ケコけ ホボた ぽぽよ ロンが スボあ ケコけ ホボた

Musical score for "The Rose Tree" in 7/8 time. The score is written for a piano and voice. The piano part consists of two staves: a treble staff and a bass staff. The voice part is written in a single staff. The key signature is one flat (B-flat). The tempo is marked "Allegretto". The score is divided into four measures. The first measure is marked "mp" (mezzo-piano). The second measure is marked "mf" (mezzo-forte). The third measure is marked "f" (forte). The fourth measure is marked "f" (forte). The piano part features a melody in the treble staff and a bass line in the bass staff. The voice part features a melody in a single staff. The score is written in a single system.

[illegible]

Musical score for "The Rose Tree" in 7/8 time. The score is written for a single melodic line on a treble clef staff. The key signature has one flat (B-flat). The tempo is marked "Allegretto". The score consists of four measures. The first measure contains the notes G4, A4, Bb4, and G4. The second measure contains the notes F4, E4, D4, and C4, with a mezzo-forte (*mp*) dynamic marking. The third measure contains the notes Bb4, A4, G4, and F4, with a piano (*p*) dynamic marking. The fourth measure contains the notes E4, D4, C4, and Bb4, with a piano (*p*) dynamic marking. The score is marked with a repeat sign at the beginning and an 8-measure rest at the end.



 こ と り よ こ は い ぞ ち ち ん ち ん ち ん ち ん
 シ ョ ン カ ニ シ ズ カ バ ニ ナ ン シ ナ ム キ ロ ガ ク ル カ ラ ち ち ん ち ん
 ャ ヅ に ア を ニ は ナ シ ナ ム キ ロ ガ ク ル カ ラ ち ち ん ち ん
 ャ ヅ に ア を ニ は ナ シ ナ ム キ ロ ガ ク ル カ ラ ち ち ん ち ん

Musical score for "The Rose Tree" in 3/4 time. The score is written for voice and piano. The key signature has one flat (B-flat). The tempo is marked "Allegretto". The score consists of two systems. The first system has two measures, and the second system has two measures. The piano part includes dynamics markings: *p* (piano) and *mp* (mezzo-piano). The score ends with the instruction "D.C. Fine." (Da Capo Fine).

はたるのお水参り

可愛らしく (♩ = 112)

mf *dolce.* *f*

mf

mf *mp*

はたるのねえさま ホ ホ ホ ばん ぼり つけて ふもそでで
はたるのねえさま ホ ホ ホ ばん ぼり つけて べにつけて

mf *mp*

mf

おんきんしまだにしゅすのびあみすまゐりにゆきまする
はすかしさうーにし たむいてあみすまゐりにゆきまする

mf

チャラ チャラ ホ ホ チャラ チャラ ホ か はいい ねえ さ ま チャラ チャラ ホ
 チャラ チャラ ホ ホ チャラ チャラ ホ き れい な ねえ さ ま チャラ チャラ ホ

mf *mp* *sf*

mf *dolce* *f*

mf

あちらの たん ば へ チャラ チャラ ホ こちらの たん ば へ チャラ チャラ ホ

mp *mp*

ほたるのねえ さま みづ まわり ぼんぼりつけて みづまわり

mf

チャラ チャラ ホ ホ チャラ チャラ ホ やさしいねえさま チャラ チャラ ホ

mf

ほたるのお水参り

長島和太郎

ほたるの姉さま ホホホ

ぼんぼりつけて 振袖で

文金島田に 朱子の帯

お水参りに ゆきまする

チャラ／＼ホホ チャラ／＼ホ

可愛い姉さま チャラ／＼ホ

ほたるの姉さま ホホホ

ぼんぼりつけて 紅つけて

はづかしそうに 下向いて

お水参りに ゆきまする

チャラ／＼ホホ チャラ／＼ホ

きれいな姉さま チャラ／＼ホ

あちらの田圃へ チャラ／＼ホ

こちらの田圃へ チャラ／＼ホ

ほたるの姉さま 水参り

ぼんぼりつけて 水参り

チャラ／＼ホホ チャラ／＼ホ

やさしい姉さま チャラ／＼ホ

お靴を鳴らして

愉快に(♩=112)

mf

f

mf

f *mp*

f *mp*

あ お く つ を な ら し て あ て て を く ん で
あ く つ を な ら し て あ て て を く ん で

ゆ け ば の の み ち は づ ゆ が こ は れ
ニ カ ケ バ ハ マ ベ ち カ モ メ ガ ト ン デ
か へ しゃ あ の せ ち あ か り が ち れ
け へ しゃ あ の せ ち あ か り が ち れ

き り の や ま か ら ラ ラ ラン ト コ ラン ト コ あさの か
 ア ヲ イ ウ ミ カ ラ ラ ラン ト コ ラン ト コ ヒルノ カ
 ほ し の そ ら か ラ ラン ト コ ラン ト コ よるの か

p mf dolce. f ff

せ
せ
せ

お靴を鳴らして

久保田青二

お靴を鳴らして お手々をくんで

行けば野の道 葉露がこぼれ

霧の山から

ラ ラ ラン ト コ ラン ト コ 朝の風

お靴を鳴らして お手々をくんで

行けば濱邊よ かもめが飛んで

青い海から

ラ ラ ラン ト コ ラン ト コ 晝の風

お靴を鳴らして お手々をくんで

歸へりやあの町 あかりがゆれて

星の空から

ラ ラ ラン ト コ ラン ト コ 夜の風

山 登 り

愉快に、餘り速くなく(♩ = 92)

f

mf

の ばー る ー おー や ま が け に は か つ ら
 ソ ラー ハ ー アー ヲ イ け け に は か つ ら
 あ はー な ー ばー た い き け け に は か つ ら

mf

f *mp*

ま が る ー こ み ー ち こ か げー がー く ら い
 ハ ル カ ー ト ホ ー ク カ ハ げー がー ハ ギ ン ノ オ ビ ヨ
 ま ル フ よ ー う な ー る よ あ ぶ はー ちー て ふ ー て ふ

f *mf*

mf

ば う し に リュッ ク サッ ク と さん ぐ つ は い て ク
 イ キ ト ニ ヲ ヲ ヲ ヤ ロッ プ ア ル ベン ス ト ツ
 ふ わ り こ し ろ い く も う い て う い て ゐ る よ

mf

f

ウン ト コ サ の エッ サッ サ ウン ト コ サ の エッ サッ サ
 ウン ト コ サ の エッ サッ サ ウン ト コ サ の エッ サッ サ
 ウン ト コ サ の エッ サッ サ

f

山 登 り

林 柳 波



登るお山 崖にはかつら

まがる小道 木陰がくらい
 帽子にリユツクサツク 登山靴はいて

ウントコサのエツサツサ

ウントコサのエツサツサ

空は青い お日さまひかる

遙か遠く 川は銀の帯よ

水筒にワイヤロツプ アルベンストツク

ウントマサのエツサツサ

ウントコサのエツサツサ

お花畑きれいに 咲いて

舞ふよ うなるよ 虹、峰、蝶々

ふわりこ 白い雲 ういてゝゐるよ

ウントコサのエツサツサ

ウントコサのエツサツサ

夜の山

軽く (♩ = 100)

Piano introduction in G major, 2/4 time. The right hand features a melody of eighth and sixteenth notes, while the left hand provides a harmonic accompaniment with chords and single notes. Dynamics range from *mf* to *f*.

(小符第二章歌詞)

First verse of the song. The vocal line is in G major, 2/4 time, with lyrics in Japanese. The piano accompaniment is in the same key and time, with dynamics including *f*, *mp*, *mf*, *p*, and *mf-p*.

まっ く ろ く ろーす け よーるのや ま ヒ イ フ ウ
 ドッ カ デ タ イーコ ガ ナーツテ キ ル マ ツ タ ロ

Second verse of the song. The vocal line continues with lyrics in Japanese. The piano accompaniment includes dynamics such as *mp*, *dolce.*, *mf*, and *f*.

ミッ ツ お ほ う ね り くーさ も き もーない
 タ ロース ケ バ ウズ ヤ マ マ ド カ ラ ソー ツ ト

い は も な い よ ひ の 明 一 星 一 た だ ひ と つ
ミ ラ ー キ ル ト ナ シ ダ カ コ ー ツ チ ヘ ク ル ヤ ウ ダ

1. ひ か っ て む る 2. タ ル ヤ ウ ダ

キ ラ キ ラ ビ カ ビ カ 1. 2. タ ル ヤ ウ ダ
ノ ツ ツ リ ノ ツ ツ リ f sf f sf

夜の山

林 柳 波

真黒 黒助 夜の山

ヒイフツミツツ 大うねり

草も木もない 岩もない

宵の明星 唯一つ

キラ／＼ ビカ／＼ 光つてゐる

どつかで太鼓が なつてゐる

真黒 黒助 坊主山

窓からそつと 見てゐると

何んだかこつちへ 来るやうだ

ノツツリ／＼ 来るやうだ

村の一本杉

✓
気せわしく(♩ = 104)



mp mf f

ふ るー い す ぎ お つ き さ ま で た ぞ は ー よ ー ー ー
 フ ルー イ ス ギ ヲ ラー ヲ ツ ヲ ナベニ ヲ ー ガー ー ー

mp mf f

か へ れ う し お へ す きー く わ わ す れ る な
 フ ケ リ ャ ホ ロ ホ ロ フ クー ロ ガ ニ ダ デ ナ ク

村の一本杉

定村 青 萍

村の一本杉 古い杉

お日さま はいるぞ 馬来るぞ

風呂炊け 飯たけ お湯わかせ

村の一本杉 古い杉

お月さま出たぞ 早よ歸れ

牛追へ 鋤鍬 わすれるな

村の一本杉 古い杉

ちらく 鎮守に 灯がついて

團圓裏 夕餉の 笑ひこゑ

村の一本杉 古い杉

藁打つ 夜業に 夜が更けりや

ほろく 梟が 枝でなく

椿と五重の塔

ゆつくと (♩ = 88)

mf mp

は ー る の お ひ さ ま て つ て む ー た
は ー る の お ひ さ ま て つ て む ー た

mp mf

お て の も ー ん の ま へ に は で
あ と ら の も ー ん の ま へ に は で

mf mp p

こ に の こ ご も が い し つ み あ そ び
か ば い の こ か ー も の た う ち の た ふ ー ー

mp mf

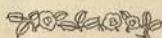
であつ ー きッ たが ごッ ちレ の とふ ー の うー へ
 ば き が ひ カー と つ か あ へち ま いー た
 p mf pocoril.
 あー か い つ ばー き が さ い て む た
 だー ー の ね が ー ひ が か ー なっ た トカ
 mf mp poco rit. pp

椿と五重の塔

井上康文



春のお陽様 照つてゐた
 お寺の門の 前庭で
 五人の子供が 石積み遊び
 出来た 五重の塔の上
 赤い椿が 咲いてゐた
 春のお陽様 山越えた
 後からくるもの 酒屋の子
 可愛い子供の 歌のこえ
 遊びつかれて 歸つて行く
 あとに残つた 五重の塔
 春の日永も 暮れちかく
 お寺の門の 前庭に
 願ひをかけた 五重の塔
 椿が一つ 落ちました
 誰の願ひが かなつたか



秋 の 日

可憐に (民謡風)

mp

く り か こ さ ー げ ー て

は や し ー に ゆ こ ー ー よ む か よ の や ま か ー ら か せ が ー

そ よ そ ー ー よ か せ に

mf f mp p mp
 ゆ ら れ て こ の は が あ ち — る あ ち は の な か か — ら
 い が — る さ — — が — そ

mf f mp p mp
 pp *poco rit.* pp

秋
の
日

早川桂太郎

栗^こ籠^{かご}さ^さげ^て

林^{はやし}に^しゆ^こよ

向^{むか}ふ^の山^{やま}か^ら

風^{かぜ}が^そよ^く

風^{かぜ}に^ゆら^れて

木^きの^は葉^はが^ふち^る

落^おち^の中^{なか}か^ら

い^が栗^こさ^がそ

●●● 童謡作曲界に其の名聲を博せる ●●●

長妻完至童謡曲集 (第一輯)

菊列装幀優美

(各定價五十錢)

送料四錢

氏は……
童謡作家としては相當古くから人に知られ、レコードにラヂオに舞踊等に、其曲を博く用ひられて居た人で、又傑作も多い幾百曲とある中から先づ五十曲を集め初めて發表せられたもので、續々刊行の豫定である。一、二の振附けを附録として掲げ本書の興味を高めたもので、現代著名作曲家は舉て推薦せられて居る。

第一輯 内容曲目
こども踊り・しゃんしゃんをん馬・一本橋・夕立・廻り燈籠・おもちゃの彈争・昔昔よ・小さな水車・祖母ちやん針仕事・お猿と椰子・豊作唄・四十雀・獅子神樂・狸ばやし・日本少年の歌・こうろぎ・鐘になりたや・木馬・ねんねんころいち・水馬と蛙・日本の旗・南京ねすみ・そこで雀は・チンチク雀・お家忘れて・軍艦旗・糸切虫・お馬のけいこ・お山のお坊・てんてん手招き・天道虫・黒ん坊のお國・峠の日暮れ・機械りギツチョン・日の丸の旗・七夕さま・浦島太郎・つばめ・山羊のおちさん・海邊の夕・まはりつこ・てつくり・踊り・赤いお日様・糞虫ホイ・石の地藏さま・ばあや・光・月夜の狸



各種、樂譜、樂書、總目錄
お申込次第御送呈いたします

昭和十年一月五日印刷
昭和十年一月拾日發行

著者 長妻 完至
東京市足立區千住旭町五十四番地

發行者 草野 茂
東京市牛込區西五軒町三四

所有者 清水 孫三郎
東京市豊島區西巢鴨二ノ一九五五

複製 印刷所 清水商會印刷部
東京市豊島區西巢鴨二ノ一九五五

發行所
東京市牛込區西五軒町三四
合資 会社 シンフォニー樂譜出版社
電話 牛込九三九番
振替東京六九二七番

定價金五十錢

本社 懸賞募集當選歌

日の丸行進曲

有本 憲次 作詞
細川 武夫 作曲

東京日日新聞

裏面に「日章旗
の下に」の歌詞
並に曲譜があり
ます

(一) 母の背中にちさい手で
振つたあの日の日の丸の
遠くほのかな思ひ出が
胸に燃えたつ愛國の
血潮の中にまた残る
(二) 梅に櫻にまた菊に
いつも掲げた日の丸の
光仰いだ故郷の家
忠と孝とをその門で
誓つて伸びた健男兒
(三) ひとりの姉が嫁ぐ宵
買つたばかりの日の丸を

運ぶ簞笥の抽斗へ
母が納めた感激を
今も思へば眼がうるむ
(四) 去年の秋よつはものに
召出されて日の丸を
敵の城頭高々と
一番乗りうち立てた
手柄はためく勝ちいくさ
(五) 永久に榮える日本の
國の章の日の丸が
光そそげばはてまない
地球の上に朝が来る
平和かじやく朝が来る

♩ = 112-116

ハ ハ ノ セ ナ カ ミ サ イー デー
ー う め に さ く ら に ま た きー く に
三 ヒ ト リ ノ ア ー 東 ガ ト ツ ダー 東

フ ー ヲ タ ア ノ ヒ ノ ヒ ノ マー ル ノ
い ー つ も か が け た ひ の まー ル の
力 ー ヲ タ バ カ リ ノ ヒ ノ マー ル ヲ

トハ ー カ イ ノ カ ナ ー オー モー ヒー デー
ハ コ ブ タン ス ノ ー キー キー シー

ガ ー ム ネ ミ エ タ ツ ア イー コー ク
ヘ ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

ノ ー チ シ ホ ノ ナ カ ミ マ ダ ノー ー ル ー
で ー ち か て の び た け ん だー ー ー ー
ヲ ー イー マー モー オー モー パー メー ガー ウー ル ー

【註】本曲の ♩ はすべて ♩ の如くに演奏すること。

佐藤春夫作詞
中山晋平作曲

むかしも今も後の世も

